

●「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」(概要) ●

淀川区社会福祉協議会内に福祉専門職のワーカー（C S W）を配置した「見守り相談室」を設置し、行政と地域が保有する要援護者情報を活用した取組みを進めています。

※ この事業は大阪市から各区社会福祉協議会に業務委託（契約）

【淀川区独自の取組】

- 全地域に見守り支援員 1 名を配置
- 4 包括圏域ごとに 1 名の見守り支援ネットワークカーを配置

【淀川区社会福祉協議会】

見守り相談室の業務を実施（右図参照）

<機能①> 要援護者情報※の整備及び管理

<機能②> 孤立世帯等への専門的対応

<機能③> 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

※ 行政が保有する要援護者情報の対象者

- ・ 介護保険の要介護認定で要介護 3 以上の方
- ・ 介護保険の要介護認定で要介護 2 以下で認知症高齢者の日常生活自立度 2 以上の方
- ・ 身体障がい者手帳 1・2 級の交付を受けている方
- ・ 知的 A、精神 1 級、視覚・聴覚 3・4 級、音声・言語機能 3 級、肢体不自由 3 級の交付を受けている方
- ・ 難病患者で人工呼吸器装着者等の医療機器等への依存の高い方

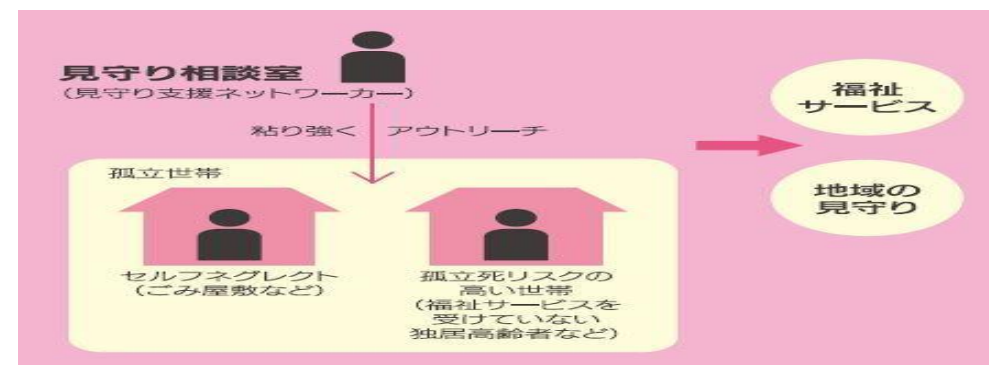
【各地域】

地域での見守り活動を実施

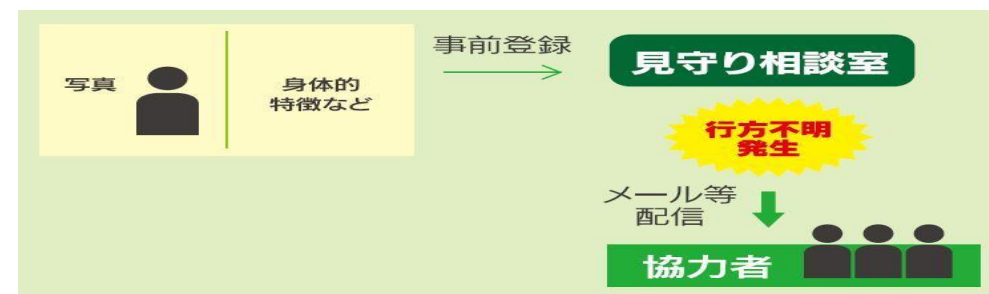
<機能①>



<機能②>



<機能③>



## ●「淀川区地域福祉推進ビジョン（淀川区おせっかい共和国宣言）」●

このビジョンは、高齢者、障がい者、子育て、防災等に関する多岐にわたる課題について、淀川区の地域福祉の方向性をまとめたものです。多くの方が地域福祉について知り、理解が深められるよう幅広く周知し、ビジョンの愛称である「おせっかい共和国宣言」を浸透させていきたいと考えています。しかしながら、昨年からは新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで通りの活動ができない状況が続いています。新型コロナウイルス感染症発生の動向等を注視しながら、淀川区役所と地域福祉活動の支援にかかる連携協定を結んでおり地域福祉の推進役である淀川区社会福祉協議会と協働し、様々な機会を捉えて周知を行ってまいります。

### ＜これまでの主な取組＞

- ・淀川区役所 1 階の区民ギャラリーでパネルを展示、パンフレット等を配布
- ・淀川区社会福祉協議会主催の行事（淀川区民福祉のつどい、地域活動者向け研修会等）でパンフレットを配布
- ・淀川区社会福祉協議会が、地域・町会単位などで開催している高齢者の交流の場や、いきいき百歳体操などの介護予防の集いの場などの情報を集約して作成している「高齢者の集いの場マップ」の配布に協力（今後は、淀川区全域の「高齢者の集いの場マップ」に加えて地域ごとの「地域のつながり交流の場マップ」を作成予定）

これ以外にも、子育て支援、防災への取組み等、各関係機関が様々な取組みを行い、地域福祉の推進に取り組んでいます。

“ご近所さんとのあいさつから始めよう！”

## “おせっかい”でつながり、支え合うまち『淀川区』!!

淀川区地域福祉推進ビジョンとは・・・

地域のだれもが自分らしくいきいきと生活していけるよう、住民や行政をはじめ、地域に関わるすべての人が力をあわせて『地域福祉』を進めていくための「通しるべ」です。

淀川区がめざす地域とは・・・

「一人ひとりの人権が尊重され、自分らしくいきいきと、地域の中で互いにつながり、支えあいながら、安心して暮らしていくことができるまちづくり」を進めていきます。

『淀川ブランド』

一帯性あふれるまちづくり

- ・地域では長年にわたり、ふれあい喫茶、子育てサロン、歌合会など、さまざまな地域福祉活動が行われ、多くの人たちが参加参加してきました。
- ・最近では、子ども食堂や子どもの居場所づくりなど、多様なニーズに対応する新たな取り組みも始まっています。
- ・個性あふれる取り組みは淀川区の強み、いわゆる『淀川ブランド』であり、人々の温かなつながりを育んでいくものです。

統計データからみた淀川区の今

|                  |          |                         |     |
|------------------|----------|-------------------------|-----|
| 人 口              | 176,201人 | （2015年国勢調査）             | 第2位 |
| 世帯数              | 94,400世帯 | （2015年国勢調査）             | 第1位 |
| 65歳以上の人口         | 39,965人  | （2015年国勢調査）             | 第5位 |
| 出生数              | 1,535人   | （2016年人口動態統計総覧）         | 第1位 |
| 身体障がい者手続所持者数     | 6,641人   | （2016年大都市福祉事業統計表）       | 第9位 |
| 障害手続所持者数         | 1,298人   | （2016年大都市福祉事業統計表）       | 第9位 |
| 精神障がい者保健福祉手続所持者数 | 1,725人   | （2016年 大都市における障害センター情報） | 第8位 |

※順位は24区中

『3つの視点』

～淀川区の現状や課題から、地域福祉を進めていくための視点を3つにまとめました～

### 1 地域に愛着を持ちみんなが参加するまちづくり

- ① 地域福祉活動への参加促進
  - ・まずは小さな“おせっかい”から始めてみましょう。
  - ・地域のイベントや取り組みを積極発信し、みんなに知ってもらいましょう。
- ② 地域福祉活動の幅づくり
  - ・さまざまな世代が集う活動の場づくり、悩みや困りごとを話してみよう。
- ③ 地域福祉の担い手づくり
  - ・小さな“おせっかい”から身近な地域に目を向け、関心や興味のある活動に参加してみましょう。

### 2 問題解決できるネットワークのあるまちづくり

- ① 身近な地域で相談できる窓口
  - ・自分自身が困った、困っている人に気づいたら、まずは相談してみましょう。
- ② 地域ネットワークの充実
  - ・住民同士や支援機関が連携して、問題を解決していきましょう。
- ③ 相談支援体制の充実
  - ・対応が難しいと感じたら、早い段階から適切な専門支援機関につなぎましょう。
- ④ 地域資源の活用・開発
  - ・身近な地域にある団体や人材などの地域資源の活用や連携について考えてみましょう。

### 3 災害時に備えた地域のつながりづくり

- ① 災害時の避難者（自ら避難することが困難で支援を要する方）への支援
  - ・防災訓練などの取り組みに参加し、地域での避難者支援について考えてみましょう。
- ② 平時からの避難者の支援体制づくり
  - ・地域の特性を活かした避難者の見守り体制をみんなで考えてつくっていきましょう。